

### 大曲ロータリークラブ

このたび大曲ロータリークラブ（板先達会長）から美郷町に、絵本46冊を寄贈していただくことになり、3月3日に役場庁舎で松田町長に目録と絵本が手渡されました。松田町長は、「本は子供たちの情操教育のためにも必要ですし、読書を推進するような社会環境にもなっています。美郷町の蔵書が増えることはたいへんありがたいことだと思います」とお礼の言葉を述べました。

大曲ロータリークラブからは昨年度も大型絵本13冊を寄贈していただき、学友館や図書館ボランティアの読み聞かせ活動などで有効に活用しています。



寄贈ありがとうございます

### 秋田県水難救済会

このたび秋田県水難救済会から美郷町に自動体外式除細動器（AED）訓練用器具1台を寄贈していただきました。同会では水難事故防止の啓発を図るため、自治体や団体などへの寄贈事業を行っています。また、昭和25年から「青い羽共同募金」を行っており、集められた募金を救助活動や訓練、水難事故防止の啓蒙活動などに活用しています。

今回寄贈していただいた訓練用器具は、六郷中学校（平成24年度開校美郷中学校）に配置し、AEDの操作訓練に活用させていただきます。ありがとうございました。



### 秋田銀行六郷支店 町に豪雪見舞金を寄付

このたび秋田銀行六郷支店（高橋伸一支店長）より美郷町へ、豪雪災害の見舞金として現金15万円を寄付していただくことになり、2月23日に役場庁舎で高橋支店長から松田町長に目録が手渡されました。見舞金は職員の皆さんの募金によるものです。松田町長は、「いただいた見舞金は豪雪による被害を受けた農業施設への支援など、一連の取り組みに使わせていただきます。ありがとうございます」と述べました。秋田銀行六郷支店の皆さん、本当にありがとうございました。

### 美郷まんま おいしいよ 幼稚園・保育園の給食に「美郷まんま」

安全で安心な食材を使った郷土の料理に親しんでもらおうと、2月25日に町内3つの幼稚園・保育園の給食で「美郷まんま」が提供されました。味付きの具材は「美郷まんま」を製造・販売している美郷づくし研究会（坂本浩之会長）から提供していただきました。

園児たちは美郷町産の野菜や牛肉がたくさん入った「美郷まんま」に大喜び。初めて食べて園児は「味が付いていて美味しい」と話し、たくさんの園児がご飯をお代わりしていました。



### わくわく園のお茶会 茶道・日本舞踊などの伝統文化を体験

3月2日に、わくわく園（六郷幼稚園・保育園）でお茶会が開かれ、年長組の34名が茶道と日本舞踊を体験しました。

町芸術文化協会六郷支部の皆さんの協力により毎年恒例となったこの催し。かわいらしく正座をした園児のみなさんが、お抹茶の味や日本舞踊に親しむ姿が見られ、楽しく伝統文化を学びました。

### 指先で文字を書いたり、新聞を読んだり シルバー向け「iPad教室」が開かれました

3月4日に千畑交流センターで「シルバー向け iPad 教室」が開かれ、受講生20名が指先で簡単に操作できる話題のiPadの操作方法を学びました。この教室は、インターネットプロバイダー株式会社インターリンクの社会貢献活動の一環として行われました。

受講生は、講師からiPadの基本的な操作方法の説明を受けた後、漢字検定や新聞、ゲーム、メール、電子辞書など、さまざまなソフトを体験しながら楽しく学びました。



### 朗読ボランティア・ダンボ 「元気なふるさと秋田づくり県民運動」で 表彰状を受賞

3月8日に仙北地域振興局で「元気なふるさと秋田づくり県民運動」の表彰式が行われ、保坂進仙北地域振興局長から受賞した6団体に表彰状が手渡されました。表彰は地域住民の自主的、主体的な地域活動を顕彰しようとして行われているもので、今回が4回目です。美郷町からは、目の不自由な人に町広報紙などを録音したカセットテープを届けている朗読ボランティア・ダンボ（沢田榮子会長）の皆さんが受賞しました。ダンボの皆さん、おめでとうございます。



### 「その時」

美郷町長 松田 知己



町議会定例会で施政方針を述べる松田町長（3月3日）

日差しや鳥のさえずりに穏やかな春を感じる頃となりました。しかし、心中はなかなか心静かとは言えない春ではないでしょうか。異常気象や自然災害などを通じた自然に対する畏怖から、将来に漠とした不安を感じてしまう春です。

特に先月の大地震は、私たちに大きな爪跡を残しました。亡くなられた方や家屋喪失など甚大な被害に遭

われた方には、お悔やみとお見舞いを申し上げます。町内でも、他県に比べると軽微とは言うものの、停電による断水や生活への支障など広く影響がありました。幸い、大きな混乱はなかったと認識しておりますが、これは皆さんの冷静な判断と適切な行動のおかげです。もちろん、町職員も懸命にがんばりましたが、改めて皆さんに感謝を申し上げます。また、被災された方々への支援については、どうか引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

一方、一定の備えはして

いたものの課題も見つかりました。一部の未整備地域を除き、防災行政無線を通じて避難所設置や給水情報などをお伝えしましたが、「音量が小さく聞こえない」という指摘を頂

きました。

した。改めて、防災行政無線の留意点の周知不足を実感しました。以前にもお願いしておりますが、防災行政無線の放送を認識した段階では、テレビなどの室内音を遮断し、窓を開けて音を聞いていただくようお願いいたします。また、長時間停電を想定した避難所間の連絡手段の確保や発電機の手配なども、再検討の必要性を強く感じました。

何事も経験から得ること